

(様式第2号)

養成研修の概要

項目	内容
1. 研修実施者の氏名及び住所 (法人にあっては、名称及び主たる事務所の所在地)	社会福祉法人 三寿会 富山県富山市大島3丁目147番地
2. 研修の名称	社会福祉法人 三寿会 介護職員初任者研修
3. 研修の方法	通学 ・ 通信
4. 実施場所	【講義・演習】 富山県富山市大島3丁目147番地 特別養護老人ホーム 三寿苑
5. 受講者募集開始予定日	平成30年 5月 1日
6. 研修開始・修了予定年月日	平成30年 7月 1日～ 平成30年 9月 31日
7. 受講対象者	一般公募 (定員20名)
8. 受講料	65,000円 (税込・テキスト代含む総額)
9. 使用テキスト等	介護職員初任者研修テキスト(株) QOLサービス
10. (実習を実施する場合) 利用する施設の名称、所在地、 設置者氏名	名称 特別養護老人ホーム 三寿苑 所在地 富山市大島3丁目147番地 代表者 竹鼻 敏孝
11. 研修修了の認定方法	<p>・「こころとからだのしくみと生活支援技術」において、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、生活支援技術の習得状況を確認する。</p> <p>・カリキュラムの時間数以外に1時間程度筆記試験により実施する評価の方法については「初任者研修 学則・実施要領」に定める。</p>

研修カリキュラム

1. カリキュラム (合計 130 時間)

科目 (細目)	研修時間内訳		具体的内容
	通信	通学	
1 職務の理解(6時間) [ねらい] 研修に先立ち、これからの介護がめざすべき、その人を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職員がどのような環境で、どのような形でどのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取組めるようになる。 [終了時評価]なし			
(1) 多様なサービスの理解 【3時間】		○	介護保険による居宅・施設サービスの種類と目的を理解する。 介護保険外のサービスの種類と目的を理解する。
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 【3時間】		○	居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容を、施設実習・見学を行い、実際のサービス現場に触れることで具体的イメージを持たせる。(職員による体験、視聴覚機材等を活用する) 【2時間】 ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携について理解する。 【1時間】
2 介護における尊厳の保持・自立支援(9時間) [ねらい] 介護職が利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点と禁止行動を理解している。 [終了時評価] ・介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 ・虐待の定義、身体拘束およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを列挙できる。			

<p>(1) 人権と尊厳を支える介護 【6時間】</p>	○	<p>介護を必要とする人の権利を学ぶ。 介護に関する基本的な視点 (QOL・ノーマライゼーション) について理解する。利用者における様々な権利擁護制度を理解する。</p> <p>○人権と尊厳の保持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人としての尊重、アドボカシー、エンパワメントの視点 ・役割の実感、尊厳ある暮らし、利用者のプライバシーの保護 <p>○QOLについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QOLの考え方、生活の質について <p>○ICFについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護分野におけるICF ・ノーマライゼーション ・ノーマライゼーションの考え方 <p>○虐待防止・身体拘束の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の禁止、高齢者虐待防止法、高齢者の養護者支援 <p>○個人の権利を守る制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護、成年後見制度、日常生活自立支援事業、生活保護制度
<p>(2) 自立に向けた介護 【3時間】</p>	○	<p>介護における自立とはなにかを学ぶ。 「その人らしさ」を尊重するために介護職として配慮すべき点について理解する。介護予防の考え方について理解する。</p>
<p>3 介護の基本(6時間)</p> <p>[ねらい]</p> <p>介護職に求められている専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。</p> <p>介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支える視点から支援を捉えることができる。</p> <p>[終了時評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について列挙できる。 ・介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療、看護との連携の必要性について列挙できる。 ・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について列挙できる。 ・生活支援の場では会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列挙できる。 ・介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントの在り方、留意点等を列挙できる。 		
<p>(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携 【2時間】</p>	○	<p>介護環境の特徴 (施設と在宅の違い、地域包括ケアの方向性等) を学ぶ。介護の専門性に考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ。他職種連携の目的を学び、利用者を支援する様々な専門職について理解する。</p>

<p>(2) 介護職の職業倫理 【1時間】</p>	○	<p>介護職員が持つべき職業倫理を学ぶ。介護職に求められる行動規範について事例を出し、意見交換を行い理解を深める。</p>
<p>(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント 【2時間】</p>	○	<p>利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ。利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守る仕組みについて学ぶ。</p>
<p>(4) 介護職の安全 【1時間】</p>	○	<p>介護の特徴を踏まえて介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。介護職に起こりやすい心身の病気や障害について学ぶ。介護職自身の健康管理の方法について学ぶ。</p>
<p>4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携(9時間) [ねらい] 介護保険制度や障害者自立支援を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割、責務についてその概要のポイントを列挙できる。 [終了時評価] ・生活全体の支援の中で介護保険制度の位置付けを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。 ・介護保険制度や障害者自立支援制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について列挙できる。 ・ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。 ・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的について列挙できる。 ・医行為の考え方、一定の要件の下に介護福祉士等が行う医行為などについて列挙できる。</p>		
<p>(1) 介護保険制度 【3時間】</p>	○	<p>介護保険制度のあゆみを理解し、制度の目的と動向について学ぶ。介護保険制度の基本的なしくみを理解する。介護保険制度に関わる組織と役割を理解するとともに制度の財政について学ぶ。</p>
<p>(2) 医療との連携とリハビリテーション 【3時間】</p>	○	<p>医療、福祉との連携について、サービス内容や連携の在り方を理解する。医療職と介護職が行うことのできる医行為の違いについて理解する。 QOL向上を図るリハビリについて考える。</p>

<p>(3) 障害者自立支援制度およびその他制度 【3 時間】</p>	○	<p>障害者の支援にあたり、障害者自立支援制度や社会的支援サービスの内容、利用の流れについて理解する。権利擁護や成年後見制度の目的について理解する。</p>
<p>5 介護におけるコミュニケーション技術(6 時間) [ねらい] 高齢者と障害者のコミュニケーション能力はひとりひとり異なることと、専門職はその違いを理解してコミュニケーションをとることが求められていることを認識し、初任者として最低限とすべき行動例を理解している。 [終了時評価] ・共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上のポイントについて列挙できる。 ・家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職として持つべき視点を列挙できる。 ・言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を列挙できる。 ・記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントを列挙できる。</p>		
<p>(1) 介護におけるコミュニケーション 【3 時間】</p>	○	<p>対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。介護における役割と技法について理解する。事例を通して利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する。</p>
<p>(2) 介護におけるチームのコミュニケーション 【3 時間】</p>	○	<p>介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ。介護における必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。様々な介護の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。</p>
<p>6 老化の理解(6 時間) [ねらい] 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。 [終了時評価] 加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化、特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について列挙できる。 高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙できる。</p>		
<p>(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常 【3 時間】</p>	○	<p>老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する。多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。</p>

<p>(2) 高齢者と健康 【3 時間】</p>	○	<p>高齢者に多く見られる症状や訴えがどのような疾病から起こるかなど、その特徴について理解する。高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気を抱える高齢者の生活上の留意点について理解する。</p>
<p>7 認知症の理解(6 時間) [ねらい] 介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解している。 [終了時評価] ・ 認知症ケアの理念や利用者中心のケアの考え方について概説できる。 ・ 健康な高齢者の「物忘れ」と認知症による記憶障害の違いについて列挙できる。 ・ 認知症の中核症状と行動・心理症状 (BPSD) 等の基本的特性、およびそれに影響する要因を列挙できる。 ・ 認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方、および介護の原則について列 挙できる。若年性認知症の特徴についても列挙できる。 ・ 認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群予防について概説できる。 ・ 認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを列挙できる。 ・ 認知症の利用者とのコミュニケーション (言語、非言語) の原則、ポイントについて理解でき、具体的な関わり方 (良い関わり方、悪い関わり方) を概説できる。 ・ 家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて列挙できる。</p>		
<p>(1) 認知症を取り巻く状況 【1 時間】</p>	○	<p>「認知症を中心としたケア」から「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する。できないことではなく、できることをみて支援することを理解する。</p>
<p>(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 【2 時間】</p>	○	<p>老化のしくみと脳の変化を学び、認知症の原因を理解する。 認知症に類似した症状をもつ疾病について学ぶ。 認知症の主な原因疾患の病態、症状について学ぶ。</p>
<p>(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 【2 時間】</p>	○	<p>認知症の症状を知りどのようなケアが必要か学ぶ。 認知症の人の行動と環境との関係について理解し、対応の仕方について検討する。</p>
<p>(4) 家族への支援 【1 時間】</p>	○	<p>家族介護者の介護の大変さについて理解し、レスパイトの重要性を学ぶ。</p>

<p>8 障害の理解(3 時間)</p> <p>[ねらい]</p> <p>障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方を理解している。</p> <p>[終了時評価]</p> <p>障害の概念と ICF について概説でき、各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について列挙できる。 障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。</p>		
<p>(1) 障害の基礎的 理解 【1 時間】</p>	○	<p>国際生活機能分類（ICF）に基づきながら、「障害」の概念について理解する。障害者福祉の基本理念について理解する。</p>
<p>(2) 障害の医学的側 面、生活障害、 心理・行動の特 徴、かかわり支 援等の基礎的知 識 【1 時間】</p>	○	<p>障害の原因となる主な疾患を理解する。障害に伴う心理的影響、障害の需要を理解する。障害のある人の生活を理解し、介護上の留意点について学ぶ。</p>
<p>(3) 家族の心理、か かわり 支援の理 解 【1 時間】</p>	○	<p>家族支援は家族介護の肩代わり支援だけではないことを学ぶ。わが国に求められるレスパイトサービスの課題を学ぶ。</p>

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）

【ねらい】

介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。

尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。

【修了時評価】

・主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。

・要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その根拠等）について概説でき、生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。

- ・利用者の身体の状態に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。
- ・人の記憶の構造や意欲等を結びつけて概説できる。
- ・人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。
- ・家事援助の機能と基本原則について列挙できる。
- ・装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。
- ・体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車椅子、杖などの基本的使用方法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について列挙できる。

I 基本的知識の学習(12時間)

(1) 介護の基本的な考え方 【2時間】	○	介護が理論的に、また法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 【4時間】	○	学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する。感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する。自己概念と生きがい、老化や障害の受容に関する基礎的な知識を理解する。
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 【6時間】	○	骨や関節など体の動きのメカニズムを理解する。神経の種類とそのはたらきを理解する。からだの器官のはたらきを理解する。

II 生活支援技術の学習（51時間）

(4) 生活と家事 【6時間】	○	生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ。いろいろな家事サービスは利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。家事サービスとは何かについて具体的に理解する。
(5) 快適な居住環境 整備と介護 【3時間】	○	安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何かについて学ぶ。住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学ぶ。高齢者や障害のある人が生活する中で、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ。
(6) 整容に関連した ところとからだ のしくみと自立 に向けた介護 【6時間】	○	整容の必要性と、整容に関連するところとからだのしくみを理解する。利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身につける。
(7) 移動・移乗に関 連したところと からだのしくみ と自立に向けた 介護 【6時間】	○	移動・移乗の必要性と移動・移乗に関連するところとからだのしくみを理解する。利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を身につける。心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響について理解する。
(8) 食事に関連した ところとからだ のしくみと自立 に向けた介護 【4時間】	○	食事の必要性と食事に関するところとからだのしくみを理解する。利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につける。心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する。
(9) 入浴、清潔保持 に関連したこ ころとからだの しくみと自立に 向けた介護 【6時間】	○	入浴・清潔保持の必要性と入浴・清潔保持に関連するところとからだのしくみを理解する。利用者本人の力を活用し、入浴・清潔保持の介護を行うための技術を身につける。心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について理解する。
(10) 排泄に関連した ところとからだ のしくみと自立 に向けた介護 【8時間】	○	排泄の必要性と排泄に関連するところとからだのしくみを理解する。利用者本人の力を活用し、気持ちのよい排泄の介護を行うための技術を身につける。心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する。
(11) 睡眠に関 したところと からだのしくみ と自立に向けた 介護 【6時間】	○	睡眠の必要性と睡眠に関するところとからだのしくみを理解する。心地よい安眠を支援するための知識と技術を身に着ける。心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する。
(12) 死にゆく人 に関したところ とからだのしく みと終末期介 護 【6時間】	○	終末期のとらえ方を学ぶ。終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ。死に直面した時の心理状況について理解し、こころの変化の受け止め方を学ぶ。

<p>Ⅲ 生活支援技術演習（12 時間）</p> <p>[ねらい]</p> <p>介護過程の目的と意義について理解する。 介護過程の展開プロセスについて理解する。 チームアプローチにおける介護職の役割と専門性について理解する。 事例を通じて、利用者のこころとからだの力が発揮できない要因を分析する。 事例を通じて、利用者本人にとって適切な支援技術は何かを検討する。 事例を通じて、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点について理解する。</p>	
<p>(13) 介護課程の基礎的理解 【6 時間】</p>	<p>○</p> <p>介護の基本的な視点（残存能力の活用と個別性の高い支援）、及び利用者理解の基本姿勢につき復習する。 介護過程の目的・意義・展開について学ぶ。 実例に基づき、介護過程とチームアプローチの重要性について理解する。 （知識の総まとめ） 事例に沿って生活支援の知識の習得度確認を行う。 講師の指導のもと、習得度が低い部分の確認を重点に行う。</p>
<p>(14) 総合生活支援技術演習 【6 時間】</p>	<p>○</p> <p>（事例による展開） 生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。 事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題 [講義事例] 高齢（80 歳） 要介護 3、認知症 [演習事例] 1 高齢（84 歳） 要介護 1・認知症（帰宅願望/無気力） 2 高齢（73 歳） 要支援 2、右片麻痺、糖尿病、独居 [介護技術演習総まとめ] 事例展開により介護技術の習得度確認を行う。 講師の指導のもと、習得度が低い部分の確認を重点的に行う。</p>
<p>10 振り返り（4 時間）</p> <p>[ねらい] 研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成学習課題の認識をはかる。</p>	

<p>(1) 振り返り 【2時間】</p>	<p>○</p>	<p>研修を通じて学んだこと今後継続して学ぶべきこと、根本に基づく介護についての要点をまとめる。利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体、心理、社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性を振り返る。</p>
<p>(2) 就業への備えと 研修終了後における継続的な研修 【2時間】</p>	<p>○</p>	<p>終業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる</p>

2. 研修日程

日時	場所	科目（細目）	講師職氏名	備考
7月1日(日) 9：00～ 12：15 実質研修時間数 3時間	三寿苑	1. 職務の理解 (1) 多様なサービスの理解	城村 篤志 (社会福祉士)	
7月1日(日) 13：15～ 16：30 実質研修時間数 3時間	三寿苑	1. 職務の理解 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	城村 篤志 (社会福祉士)	
7月4日(水) 9：00～ 16：30 実質研修時間数 6時間	三寿苑	2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (1) 人権と尊厳を支える介護	藤井 直樹 (社会福祉士)	
7月8日(日) 9：00～ 12：15 実質研修時間数 3時間	三寿苑	2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (2) 自立に向けた介護	黒澤 勇 (社会福祉士)	
7月8日(日) 13：15～ 15：25 実質研修時間数 2時間	三寿苑	3. 介護の基本 (1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	石塚 健一 (介護福祉士)	
7月8日(日) 15：35～ 16：35 実質研修時間数 1時間	三寿苑	3. 介護の基本 (2) 介護職の職業倫理	石塚 健一 (介護福祉士)	
7月11日(水) 9：00～ 11：10 実質研修時間数 2時間	三寿苑	3. 介護の基本 (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	石塚 健一 (介護福祉士)	
7月11日(水) 11：20～ 12：20 実質研修時間数 1時間	三寿苑	3. 介護の基本 (4) 介護職の安全	石塚 健一 (介護福祉士)	

7月 11日 (水) 13:20 ~ 16:40 実質研修時間数 3時間	三寿苑	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1) 介護保険制度	藤井 直樹 (社会福祉士)	
7月 15日 (日) 9:00 ~ 12:20 実質研修時間数 3時間	三寿苑	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (2) 医療との連携とリハビリテーション	仲俣 拓 (看護師)	
7月 15日 (日) 13:20 ~ 16:40 実質研修時間数 3時間	三寿苑	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3) 障害者自立支援制度およびその他制度	濱野 真徳 (社会福祉士)	
7月 18日 (水) 9:00 ~ 12:20 実質研修時間数 3時間	三寿苑	5. 介護におけるコミュニケーション技術 (1) 介護におけるコミュニケーション	山崎 大午 (介護福祉士)	
7月 18日 (水) 13:20 ~ 16:40 実質研修時間数 3時間	三寿苑	5. 介護におけるコミュニケーション技術 (2) 介護におけるチームのコミュニケーション	山崎 大午 (介護福祉士)	
7月 22日 (日) 9:00 ~ 12:20 実質研修時間数 3時間	三寿苑	6. 老化の理解 (1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	仲俣 拓 (看護師)	
7月 22日 (日) 13:20 ~ 16:40	三寿苑	6. 老化の理解 (2) 高齢者と健康	仲俣 拓 (看護師)	

実質研修時間数 3 時間				
7 月 2 5 日 (水) 月 日 9 : 00 ~ 10 : 00 実質研修時間数 1 時間	三寿苑	7. 認知症の理解 (1) 認知症を取り 巻く状況	生駒 裕子 (介護福祉士)	
7 月 2 5 日 (水) 10 : 10 ~ 12 : 20 実質研修時間数 2 時間	三寿苑	7. 認知症の理解 (2) 医学的側面か ら見た認知症の基 礎と健康管理	仲俣 拓 (看護師)	
7 月 2 5 日 (水) 13 : 20 ~ 15 : 30 実質研修時間数 2 時間	三寿苑	7. 認知症の理解 (3) 認知症に伴う こころとからだの 変化と日常生活	生駒 裕子 (介護福祉士)	
7 月 2 5 日 (水) 15 : 40 ~ 16 : 40 実質研修時間数 1 時間	三寿苑	7. 認知症の理解 (4) 家族への支援	生駒 裕子 (介護福祉士・認知 症介護指導者養成 研修修了者)	
7 月 2 9 日 (日) 9 : 00 ~ 10 : 00 実質研修時間数 1 時間	三寿苑	8. 障害の理解 (1) 障害の基礎的 理解	仲俣 拓 (看護師)	
7 月 2 9 日 (日) 10 : 10 ~ 11 : 10 実質研修時間数 1 時間	三寿苑	8. 障害の理解 (2) 障害の医学的 側面、生活障害、心 理・行動の特徴、か かわり支援等の基 礎的知識	仲俣 拓 (看護師)	
7 月 2 9 日 (日) 11 : 20 ~ 12 : 20 実質研修時間数 1 時間	三寿苑	8. 障害の理解 (3) 家族の心理、 かわり支援の理 解	黒澤 勇 (社会福祉士)	

8月1日(水) 9:00 ~ 11:10 実質研修時間数 2時間	三寿苑	9. ころとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識の学習 (1) 介護の基本的な考え方	辺城 雄一郎 (介護福祉士)	
8月1日(水) 11:20 ~ 12:20 実質研修時間数 1時間	三寿苑	9. ころとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識の学習 (2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	辺城 雄一郎 (介護福祉士)	
8月1日(水) 13:20 ~ 16:40 実質研修時間数 3時間	三寿苑	I 基本知識の学習 (2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	辺城 雄一郎 (介護福祉士)	
8月5日(日) 9:00 ~ 16:40 実質研修時間数 6時間	三寿苑	9. ころとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識の学習 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	池田 尚樹 (介護福祉士)	
8月8日(水) 9:00 ~ 16:40 実質研修時間数 6時間	三寿苑	9. ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の学習 (4) 生活と家事	坂木 亜希代 (介護福祉士)	
8月12日(日) 9:00 ~ 12:20 実質研修時間数 3時間	三寿苑	9. ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の学習 (5) 快適な居住環境整備と介護	上野 岳志 (介護福祉士)	
8月15日(水) 9:00 ~ 16:40 実質研修時間数	三寿苑	9. ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の学習	辺城 雄一郎 (介護福祉士)	

6 時間		(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護		
8 月 1 9 日 (日) 9 : 00 ~ 16 : 40 実質研修時間数 6 時間	三寿苑	9. ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ生活支援技術の学習 (7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	山田 秀伸 (介護福祉士)	
8 月 2 2 日 (水) 9 : 00 ~ 12 : 20 13 : 20 ~ 14 : 20 実質研修時間数 4 時間	三寿苑	9. ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ生活支援技術の学習 (8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	川邊 久仁子 (管理栄養士)	
8 月 2 6 日 (日) 9 : 00 ~ 16 : 40 実質研修時間数 6 時間	三寿苑	9. ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ生活支援技術の学習 (9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	上野 岳志 (介護福祉士)	
8 月 2 9 日 (水) 9 : 00 ~ 12 : 20 実質研修時間数 3 時間	三寿苑	9. ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ生活支援技術の学習 (10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	舟本 恵美 (介護福祉士)	
9 月 2 日(日) 9 : 00 ~	三寿苑	9. ところとからだのしくみと生活支	吉田 雪子 (介護福祉士)	

<p>12 : 20</p> <p>13 : 20 ~</p> <p>15 : 30</p> <p>実質研修時間数 5 時間</p>		<p>援技術</p> <p>Ⅱ生活支援技術の 学習</p> <p>(10) 排泄に関連 したところとからだ のしくみと自立 に向けた介護②</p>		
<p>9 月 5 日(水)</p> <p>9 : 00 ~</p> <p>16 : 40</p> <p>実質研修時間数 6 時間</p>	三寿苑	<p>9. ところとからだ のしくみと生活支 援技術</p> <p>Ⅱ生活支援技術の 学習</p> <p>(11) 睡眠に関し たところとからだ のしくみと自立に に向けた介護</p>	辺城 雄一郎 (介護福祉士)	
<p>9 月 9 日(日)</p> <p>9 : 00 ~</p> <p>16 : 40</p> <p>実質研修時間数 6 時間</p>	三寿苑	<p>9. ところとからだ のしくみと生活支 援技術</p> <p>Ⅱ生活支援技術の 学習</p> <p>(12) 死にゆく人 に関したところと からだのしくみと 終末期介護</p>	山田 秀伸 (介護福祉士)	
<p>9 月 1 2 日 (水)</p> <p>9 : 00 ~</p> <p>16 : 40</p> <p>実質研修時間数 6 時間</p>	三寿苑	<p>9. ところとからだ のしくみと生活支 援技術</p> <p>Ⅲ生活支援技術演 習</p> <p>(13) 介護過程の 基礎的理解</p>	池田 尚樹 (介護福祉士)	
<p>9 月 1 6 日 (日)</p> <p>9 : 00 ~</p> <p>16 : 40</p> <p>実質研修時間数 6 時間</p>	三寿苑	<p>9. ところとからだ のしくみと生活支 援技術</p> <p>Ⅲ生活支援技術演 習</p> <p>(14) 総合生活支 援技術演習</p>	池田 尚樹 (介護福祉士)	

<p>9月19日 (水) 10:00 ~ 12:10 実質研修時間数 2時間</p>	<p>三寿苑</p>	<p>10. 振り返り (1) 振り返り</p>	<p>生駒 裕子 (介護福祉士)</p>	
<p>9月19日 (水) 13:10 ~ 15:20 実質研修時間数 2時間</p>	<p>三寿苑</p>	<p>10. 振り返り (2) 就業への備え と研修終了後における 継続的な研修</p>	<p>生駒 裕子 (介護福祉士)</p>	
<p>9月19日 (水) 15:30 ~ 16:30</p>	<p>三寿苑</p>	<p>終了試験</p>	<p>生駒 裕子 (介護福祉士)</p>	
<p>9月23日 (日) 10:30 ~ 11:30</p>	<p>三寿苑</p>	<p>修了式</p>		